

令和 8 年 3 月 31 日

## 放課後等デイサービスピース自己評価結果等の公表（R8.3 実施）

### 自己評価結果の検討会議の記録

日時：令和 8 年 3 月 30（月）14:30-15:00

場所：放課後等デイサービスピース

参加者：仲西、井本雅、元岡、高尾、渡邊

※その他の職員には個別で確認

○事業所全体による自己評価の討議と改善目標設定をした。なお、当日参加できなかった職員には個別で内容を共有し、ヒアリングを行った。結果は以下のとおりである。

#### ① 保護者等による評価と改善目標の設定から

回答数 26 件。「はい」の回答がほとんどで、概ね満足のいく利用につながっている。以下、「いいえ」「どちらともいえない」の回答が多い項目を中心に、検討会議にて現状共有と改善目標を立てた。

- ・ 3 項目目の「バリアフリー化」については、「どちらともいえない」が 15 件と多かった。「確認していない」「見ていなかった」という声が多く、現状の利用者については不便なく利用できているとの回答もあった。施設の構造上の限界はあるが、運用面で支障なく対応できていることを確認した。
- ・ 5 項目目の「活動の固定化」については、「どちらともいえない」が 4 件あった。利用開始間もないため判断できないという声もあるが、引き続き利用者のニーズや状況の変化に応じ、柔軟にプログラムを工夫していく。
- ・ 6 項目目の「放課後児童クラブや児童館との交流」については、「どちらともいえない」17 件、「いいえ」3 件と課題が残る項目である。法人主催のイベント等を通じて地域の子どもたちと触れ合える機会を定期的に設けているが、参加できていない利用者も多い。今後も告知を強化し、参加しやすい企画を行っていく。
- ・ 9 項目目の「面談や育児に関する助言」については、「どちらともいえない」が 3 件あった。対面や LINE 等で気軽に相談できる環境を整えており、引き続き保護者が相談しやすい体制を維持していく。
- ・ 10 項目目の「父母の会の活動の支援」については、「どちらともいえない」が 8 件、「いいえ」が 1 件あった。毎月ハッピーカフェ（座談会）を開催し、保護者同士の交流の場を提供している。今後もチラシ等で告知し、認知を広めていく。
- ・ 11 項目目の「苦情対応」については、「どちらともいえない」が 6 件あった。該当する場面がなかったとの回答が多いが、苦情・要望があった場合に迅速に対応できる体制を整え

ていることを改めて周知していく。

- ・15 項目目の「緊急時対応マニュアル等の周知」については、「どちらともいえない」が 6 件、「いいえ」が 1 件あった。契約時に説明を行っているが、改めてお便り等で周知し、安心して利用いただけるようにする。
- ・16 項目目の「避難訓練」については、「どちらともいえない」が 16 件、「いいえ」が 2 件と課題が大きい項目である。年 2 回の避難訓練を実施しているが、保護者への周知が不十分であった。今後は訓練実施後にお便りや LINE 等で報告し、取り組みを利用者に伝えていく。

## ② 職員による自己評価と改善目標の設定から

各項目について職員全体で自己評価を行い、以下の点について改善目標を設定した。

- ・「はい」の項目については、引き続き継続できるよう確認した。保護者アンケートとの大きな乖離は見られず、今後も継続しつつ、改善できるところは改善していく。
- ・3 項目目の「バリアフリー化」については、現在の利用者に関しては不自由なく利用できている。古くなった設備はメンテナンスを行い、今後も修繕しながら子どもたちが安全に過ごせる環境を整えていく。
- ・8 項目目の「研修の機会の確保」については、内部研修を定期的実施し、外部研修への参加も促すことで職員のスキルアップに取り組んでいる。
- ・22 項目目の「医療的ケア児」については、現段階では該当者がいないが、今後必要が生じた場合には主治医等との連携体制を整備する。
- ・26 項目目の「障がいのない子どもとの交流」については、法人主催の様々なイベントを通じて交流機会を設けている。保護者アンケートでも認知が低い部分があるため、取り組みの広報を強化する。
- ・29 項目目の「ペアレントトレーニング」については、専門的な実施には至っていないが、個別面談やハッピーカフェ（座談会）等を通じて保護者支援を行っている。今後もコミュニケーションを密にし、保護者が相談しやすい環境をつくっていく。
- ・42 項目目の「食物アレルギー」については、食事提供を行っていないが、おやつ等についてはアセスメント時にアレルギー情報を確認し対応している。
- ・43 項目目の「ヒヤリハット事例集」については、作成・共有し定期的に見直しを行っている。引き続き職員会議や研修の中で確認し、安全管理を徹底していく。

今回のアンケート結果で明らかになった上記①、②の改善点を職員間で確認・共有・検討し、さらなる子どもたちの利益の保障とサービスの質の向上に取り組んでいくことを確認した。

以上

## 保護者等向け

## 放課後等デイサービス評価表 (R8.3実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	0	0	保護者の送迎時スタッフと情報共有するスペースが少ない。 十分な広さがあります。お部屋が複数あり落ち着ける環境だと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	0	0	一人に対して毎回手厚いサポートをいただいています。 いつも複数の先生たちにお世話になっています。 特性に応じた細やかな支援で学習への理解が深まっている。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	15	1	バリアフリーかどうか確認していません。 我が子に関しては不便なく利用できる環境です。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	1	0	こちら側の要望を取り入れて、その日の子どもの必要に合わせた、子どもがついていける支援をしてくださっています。丁寧な計画書を作っていただきました。 保護者だけでなく、本人の丁寧に取り上げてくださって助かっております。 子供の变化に合わせた個別の対応がされていると思います
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	4	0	保護者の考えを聴いて、それを常に意識しながら、また固定的にならないよう工夫してくださっています。 まだ利用開始したばかりなのでわかりません。 色々な体験ができるのがいいです。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	17	3	なかなか都合が合わず参加できませんが様々な催しや、地域の子どもたちと触れ合える機会も定期的に設けられてるので機会があったらぜひ参加させたいです。 そういう活動を聞いたことがないかもしれませんが。まだ機会がありません。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1	0	とても丁寧に説明されました。 丁寧に説明を受けました
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	24	2	0	送迎時、本人もいるため、あまり詳細には話づらいかなと思います。できるだけ、こちらからも話せたりノートやLINEを利用してお伝えしていきたいなと思います。 利用後に報告をしてくださります。利用後に活動内容を説明していただいています ラインなどでなくても気軽に相談できて助かります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	3	0	すぐく時間を使って話してください。 不安なことをしっかり聞いて下さいます 対面での機会以外にもラインなどでもアドバイスくださり助かってます。 相談しやすいと、とても助かっています
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	8	1	発達障害だけでなく、不登校にも対応した親の会を毎月開催しておられて、参加して良かったと思います。 チラシなどでご案内いただき機会があれば参加してみたいと思っています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	6	0	そういう場面に出くわしたことがないので不明です。 苦情は言っていないのですが対応くださる雰囲気です。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2	0	細かく連絡して下さります
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	4	0	まだよくわかりません
14	個人情報に十分注意しているか	24	2	0	注意されていると思います	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	6	1	丁寧に説明を受けました
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	16	2	よく覚えてません。 丁寧に説明を受けました
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	3	0	毎回とても楽しみにしている様子が伺えます。 学校にも行きづらくなってきている子どもが、「家以外が一番落ち着く所だ」と言っているくらい、とても気に入っています。本当にありがたいです。 先生方の温かさに甘えています
	18	事業所の支援に満足しているか	25	1	0	いつもこまめなご対応をいただき、感謝しています。 今後もお世話になりたいと思っています。 ぜひ今後もお世話になりたいです。

\*1

放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表(R8.3.25実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対して十分なスペースを確保し、適切に運営している。引き続き環境整備に取り組む。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の職員配置を維持し、適切に運営している。引き続き人材確保・育成に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の構造上バリアフリー化には限界があるが、運用面での工夫により対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の職員会議や研修、日々のミーティング・終礼等を通じて課題を共有し、改善に取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本アンケートのほか、年間を通じた希望調査や保護者面談を実施し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内への掲示に加え、ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会を設置・実施し、外部の視点を取り入れた業務改善に取り組んでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修を定期的実施するほか、外部研修への参加機会も確保している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用状況の共有やモニタリング、保護者面談を通じてニーズを把握し、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用し、子どもの状況を客観的に把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議や日々のミーティングにおいてチームで立案・確認し、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			会議等で確認し、各利用者のニーズや状況の変化に応じて柔軟にプログラムを工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日・長期休暇それぞれの特性を踏まえ、利用者ごとの課題に応じた支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動のバランスを考慮し、利用者の状況に合わせた計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に当日の内容・役割分担をミーティングで確認し、共通認識を持って支援にあっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼を毎日実施し、当日の支援内容を振り返り、気付きや改善点を共有して次回の支援に反映している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援内容を正確に記録し、支援の検証・改善に活用している。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインに基づき、自立支援・創作活動・地域交流・余暇活動等を組み合わせ、支援している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には児発管等、子どもの状況に精通した職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有や送迎時の連絡調整を日常的に行い、必要に応じて担当者会議等でも連携している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし。今後必要が生じた場合は、主治医等との連携体制を整備する。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用開始前の事業所等から必要な情報を収集し、支援に活かしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後の移行先に対して、これまでの支援内容等の情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、必要に応じて助言や情報共有を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			法人主催のイベント等を通じて、地域の子どもの交流機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会等に参加し、地域の関係機関との連携を図っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の情報共有や定期的な面談を通じて、子どもの発達状況や課題について共通理解を深めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	専門的なペアレント・トレーニングの実施には至っていないが、個別面談や相談対応を通じて保護者支援を行っている。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規程や利用者負担等について丁寧に説明を行っている。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談や日常的な相談を通じて、保護者の悩みに寄り添い、必要な助言・支援を行っている。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			ハッピーカフェ(座談会)等を開催し、保護者同士が交流・情報交換できる場を提供している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情・要望があった場合は真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応する体制を整えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的におたよりを発行し、活動内容や行事予定等の情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護に関する内部研修を実施し、適切な管理を徹底している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳やLINE等、保護者が利用しやすいツールを活用して意思疎通・情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域住民との関わりを大切にしながら、開かれた事業運営に取り組んでいる。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、契約時に保護者へ説明するとともに、職員間でも会議等で共有・確認している。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を実施し、非常時に備えた体制を整えている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に関する研修を定期的 to 実施し、職員の意識向上を図っている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			放課後等デイサービス計画に記載し、契約時に保護者へ説明のうえ了承を得ている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事提供を行っていないため該当しないが、おやつ等についてはアレルギー情報を確認し対応している。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット事例集を作成・共有し、定期的に見直しを行いながら安全管理に努めている。	